「青果物輸出産地セミナー＆マッチング in 東北」

東北産地との連携による輸出拡大

九州農水産物直販株式会社（福岡県）

吉村 直喜

KAMP 九州農水産物直販株式会社

KYUSHU AMP

KYUSHU AGRICULTURAL AND MARINE PRODUCTS, CO, LTD.

AGENDA

1. 会社概要

2. 弊社輸出状況

   A) 輸出・新規案件状況

   B) 主要果物輸出状況

3. 九州と東北との産地関連携輸出

4. 商談成約率を上げるための工夫

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

会社概要

九州農水産物直販株式会社について	
事業目的	• 九州の強みである農水畜産物の海外市場への輸出促進 • 生産農家の所得増大(後継者が戻ってくる農業を目指して)
設立	• 平成27年8月28日
所在地	• 福岡市博多区博多駅前2丁目12-10第7グリーンビル9Ｆ
代表者	• 代表取締役社長　小田 保
株主	• JA宮崎経済連、麻生、JR九州、九電工、エスジーグリーンハウス、日本通運、三井住友信託銀行
主な仕向け先	• 香港、中国（上海、大連、広州）、シンガポール、台湾

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

会社概要

青果物の上位5品目で全体の40%を販売する。

主な取扱い品目

サツマイモ(全体の10%)

いちご(全体の10%)

- 青果物
  - ✓ **サツマイモ**、きのこ、きゃべつ、**いちご**、りんご
- 水産・畜産物
  - ✓ 水産品(冷凍シーフード)、鶏卵
- その他
  - ✓ 飲料・酒類、麺類 等

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

会社概要

多様な産地との繋がりを活かした仕入れとデイリーファームグループとの直接取引という明確な出口戦略が強み。

九州農水産物直販の強み

仕入れ

- **九州の経済界(九州経済連合会)と農業界(JA宮崎経済連)がタッグを組んで設立**
- 強力なネットワークを活かした多様な産地とのつながり

商流

- **デイリーファームグループ(香港最大手量販チェーン、小売市場シェア3割超)との直接取引**
- 中間マージンの圧縮による中間層をターゲットにした販売の実現

展開

- デイリーファームグループは**東南アジア13か国・地域に展開**
- 香港と同じモデルで他国への輸出展開が可能

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

会社概要 ~直販商流 (Dairy Farmグループ)

Dairy Farmグループの概要			
会社名	Dairy Farm international Holdings	**主要株主**	Jardine Matheson Holdings
本社	香港 (登記所在地-バミューダ諸島)	**年商**	約15,000億円
創業	1886年	**店舗数**	5,800店舗
業種	リテール販売 (食料品・衛生品　全般)	**従業員数**	10万人

Dairy Farmグループ傘下の主要流通ブランド		
業態	**店舗数**	**主要ブランド**
スーパーマーケット	313	360 ThreeSixty、Oliver's The Delicatessen、MARKETPLACE、Wellcome、Jasons
コンビニ	911	セブンイレブン
飲食	810	スターバックス、元気寿司、マキシムズ・グループ
薬局・コスメ	424	GNC、Munnings
家具・雑貨	3	IKEA

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

会社概要 ~直販商流 (Dairy Farmグループ)

- 香港財閥、ジャーディン・マセソン・ホールディングス(Jardine Matheson Holdings)傘下の流通グループ
  - ✓ Hong Kong Land（不動産）、Mandarin Oriental（ホテル）も傘下グループ企業
- スーパーマーケットをはじめ、各種流通ブランドを展開する香港の二大流通グループの一つ
  - ✓ 香港や台湾、シンガポール等アジア13ヶ国・地域で6,800店舗、年商1兆8,000億円の小売・飲食店を運営している。このうちスーパーは、約1,500店舗で香港だけでも約300店舗強を所有

主に青果物、冷凍シーフード、鶏卵を輸出

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

会社概要 ~直販商流 (Dairy Farmグループ)

DairyFarmグループは世界中で1700を超える店舗を展開。

■ 最上級　■ 上級　■ 普及帯　■ ハイパーマーケット　■ その他

国	カテゴリー	ブランド	ナンバー	トータル
香港		360 ThreeSixty	2	307
		Oliver's The Delicatessen	1	
		MARKETPLACE	41	
		Wellcome	263	
シンガポール		Jasons	4	102
		MARKETPLACE	2	
		Cold Storage	41	
		Giant	55	
マレーシア		Mercato	1	142
		Cold Storage	6	
		Giant	135	
インドネシア		Hero	26	26
中国		Yonghui永輝超市	1,052	1,052
マカオ		San Miu	20	20
カンボジア		Lucky	60	60
				TOTAL : 1,709＋

弊社HP（http://www.kyushu-amp.com/dairyfarm.php）

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

AGENDA

1. 会社概要

2. 弊社輸出状況

   A) 輸出・新規案件状況

   B) 主要果物輸出状況

3. 九州と東北との産地関連携輸出

4. 商談成約率を上げるための工夫

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

弊社輸出状況 ～輸出・新規案件状況

九州、東北から継続的に青果物の輸出を行っている。

九州・東北からの輸出状況

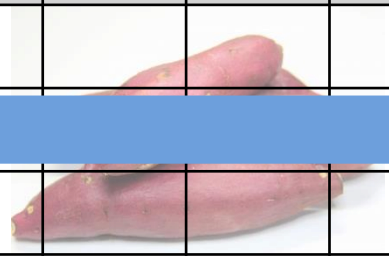
ステータス	品名	代表産地	数量	備考
継続中	さつまいも	九州・東北	6～8トン/週	さつまいも単体での輸送
継続中	きのこ	福岡	500～1000箱/週	鍋需要で引き合い強い
継続中	キャベツ	鹿児島	500~1200箱/週	通年として安定したニーズ
継続中	いちご	福岡	8万パック/年	粒の大きいいちご

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

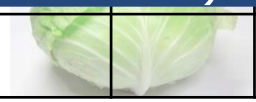
弊社輸出状況 ～主要果物輸出状況

九州だけではなく、東北、北関東からの仕入れも行い、同一商材の長期間販売を目指す。

サツマイモの輸出時期（年間輸出量：50~70t）												
産地	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
宮城												
鹿児島												
宮崎												



キャベツの輸出時期（年間輸出量：50t）												
産地	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北		弊社希望(取組検討中)										
鹿児島												

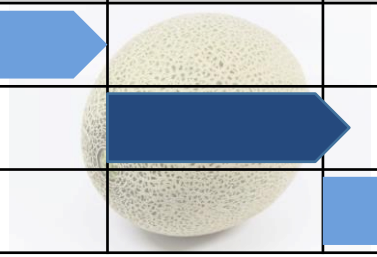


©Accenture 2022. All Rights Reserved.

弊社輸出状況 ～主要果物輸出状況

九州だけではなく、東北、北関東からの仕入れも行い、同一商材の長期間販売を目指す。

メロンの輸出時期（年間輸出量：5t）								
産地	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
熊本								
山形								
北海道								



©Accenture 2022. All Rights Reserved.

■AGENDA

1. 会社概要

2. 弊社輸出状況

A) 輸出・新規案件状況

B) 主要果物輸出状況

3. 九州と東北との産地間連携輸出

4. 商談成約率を上げるためのアドバイス

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

九州と東北との産地間連携輸出

サツマイモ基腐病をきっかけに九州以外の産地掘り起こしを実施。販路に課題を持つやまもとファームと出会い、輸出へ。

産地間連携輸出のきっかけ

- 2018年からサツマイモ基腐(もとぐされ)病が九州の産地等で発生、**ロット確保のため、全国から病気のない生産者を探していた**
- **宮城県のやまもとファームみらい野**では大規模な農地を持つ一方で販路に課題を有していた

- **東北経済連合会の紹介でやまもとファームみらい野のサツマイモと出会い、輸出が実現**
- **明確な「出口戦略」**のもと、**他の東北産青果物の輸出も拡大**

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

九州と東北との産地間連携輸出

東北とは以前から果物の輸出で繋がりがあったが、2021年のサツマイモ(甘藷)の輸出から本格的に輸出事業が開始。

年月	産地	品目	量	納品先
2019年7月	山形	メロン	300ケース(5玉/ケース)	デイリーファーム
2021年2月	宮城	サツマイモ	300ケース(10kg/ケース)	デイリーファーム
2021年4月	宮城	サツマイモ	300ケース(10kg/ケース)	デイリーファーム
2021年7月	山形	メロン	48ケース(5玉/ケース)	デイリーファーム
2021年8月	青森	桃	96ケース(5~6玉/ケース)	デイリーファーム
2021年11月~2022年3月	宮城	サツマイモ	12,000ケース(10kg/ケース)	デイリーファーム
2021年11月	宮城	キャベツ	630ケース(8玉/ケース)	デイリーファーム

*青果物の事例

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

九州と東北との産地間連携輸出

東北とは以前から果物の輸出で繋がりがあったが、2021年のサツマイモ(甘藷)の輸出から本格的に輸出事業が開始。

年月	産地	品目	量	納品先
2022年7月	山形	メロン	200ケース(5~6玉/ケース)	イオンストアーズ香港
2022年8~9月	青森	桃	384ケース(5~6玉/ケース)	イオンストアーズ香港
2022年9月	秋田	枝豆	50ケース(20袋/ケース)	イオンストアーズ香港

*青果物の事例

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

九州と東北との産地間連携輸出

年間の安定供給体制構築だけではなく、生産者に対して国内倉庫渡し、規格外品を活用出来る等のメリットを提示。

産地間連携輸出のメリット

直接仕入 直接販売	• **仲卸業者や輸入業者を省き、生産者は利益を確保しやすい** • **現地ニーズの把握**だけではなく、**着荷時の商品状態を早期に把握**して、**品質向上に向けた改善**ができる
国内規格外品の販売	• サツマイモは国内で流通するサイズはM、Lサイズだが、香港ではおやつに手頃な**SSやSサイズの需要が高い**
安定供給	• 10月~3月は九州、4月~9月は東北の野菜を中心に輸出することで**年間通しての安定供給体制が可能**

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

九州と東北との産地間連携輸出

新規市場開拓によって東北、九州産品の輸出を拡大する。2025年には20億、2030年には、50億を輸出目標とする。

産地間連携輸出の展望

明確な出口戦略	• 産地→弊社→デイリーファームの構図は**最短の輸出ルート** • **柔軟に取り組み、品質的に問題なければ輸出出来る**
新規市場開拓	• 香港だけでなく、**シンガポールなどアジア各国へ九州と東北で連携して農産物の輸出を拡大する**
輸出目標	• 2022年度は10億円の目標をクリアできる見込み • 政府の輸出目標を睨んで、**最低でも2025年には20億、2030年には、50億の輸出目標**を達成したい

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

AGENDA

1. 会社概要

2. 弊社輸出状況

   A) 輸出・新規案件状況

   B) 主要果物輸出状況

3. 九州と東北との産地関連携輸出

4. 商談成約率を上げるための工夫

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

商談成約率を上げるための工夫

商談までの事前準備によって、商談後の取引にスピード感を持たせることが出来る。

必要な情報の事前準備、店舗に並ぶ荷姿での供給

- **商談の際、情報がA4等で資料にまとまっているとよい**
  - ✓ FCP展示会・商談会シート等の情報に加えて、**規格情報、箱のサイズ、積載率、JANコードの有無、物流手段の有無など**
  - ✓ 商談後すぐに現地バイヤーと情報連携することで案件が進行
  - ✓ 情報交換や確認に時間が掛かることによる宙ぶらりんになり辛い
- **店舗に並ぶ荷姿で供給いただけると好ましい**
  - ✓ 個包装されたパッケージ (柿であれば2玉で1パック等)

©Accenture 2022. All Rights Reserved.

ご清聴ありがとうございました

KAMP 九州農水産物直販株式会社